

多職種連携

リハビリテーション科学概論

[講義] 第3学年 前期 必修 2単位

《担当者名》 教授/武田 涼子r-takeda@ 教授/坂上 哲可tsakaue@ 教授/本家 寿洋honke@
 講師/朝日 まどかasahi-m@ 講師/只石 朋仁tomo-tadaishi@ 助教/佐藤 一成kz-satoh@
 助教/多田 菊代kiku-tada@ 助教/谷口 翔平s.taniguchi@ 助教/依田 泰知y_taichi@
 助教/齋藤 隆司r-saito@ 教授/豊下 祥史toyoshita@ 教授/倉重 圭史kura@
 教授/長澤 敏行nagasawa@ 特任教授/安彦 善裕yoshi-ab@
 特任教授/三浦 宏子hmiura@ 助教/森川 哲郎t-morikawa@
 講師/吉田 光希denty@

【概要】

身体の運動機能の基本を理解するとともに、種々の身体条件における運動機能とそのリハビリテーションの基本を学習する。さらに、多職種連携の概念を学習する。

【学修目標】

身体運動機能の基本を理解する。
 リハビリテーションの概念を理解する。
 高齢者の心身の特徴を理解する。
 身体運動機能の障害とその回復の概念を理解する。
 多職種連携について理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	全身がわかる歯科医師がなぜ必要か。	超高齢社会において、全身管理や基礎疾患に対応できる安全な医療を提供できる歯科医師の必要性が理解できる。	豊下 祥史
2	リハビリテーションの概念 1	リハビリテーションの概念を理解する。	坂上 哲可
3	身体運動機能の基本 1	身体運動機能の基本を理解する。	武田 涼子
4	身体運動機能の基本 2	身体運動機能の基本を理解する。	武田 涼子
5	リハビリテーションの概念 2	リハビリテーションの概念を各地域でどのように活かしているか理解する。(特別講師による講義を含む)	武田 涼子
6	高齢者の心身の特徴 1	高齢者の心身の特徴を理解する。	朝日 まどか
7	身体運動機能の障がいとその回復 1	身体運動機能の障がいとその回復の概念を理解する。	武田 涼子 佐藤 一成 多田 菊代
8	リハビリテーションの概念 3	車いす体験を通じて、障害を持つ感覚や推測を深める。	武田 涼子 只石 朋仁 谷口 翔平 坂上 哲可 本家 寿洋 朝日 まどか 依田 泰知 齋藤 隆司
9	高齢者の心身の特徴 2	・高齢者体験実習を通じて、心身の変化・特徴を感覚的に得たり、推測を深める。 ・地域の中で”その人らしく暮らす”維持期リハビリテーションについて、理解する。	武田 涼子 佐藤 一成 多田 菊代 坂上 哲可 本家 寿洋 朝日 まどか 依田 泰知 齋藤 隆司
10	身体運動機能の障がいとその回復 2	片麻痺体験を通じて、その感覚や推測を深める。	武田 涼子 只石 朋仁 谷口 翔平 坂上 哲可

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
			本家 寿洋 朝日 まどか 依田 泰知 齋藤 隆司
11	多職種連携	多職種連携について理解する。	本家 寿洋
12	口腔乾燥症と疾患	口腔乾燥症の病態と関連する疾患について理解する。	安彦 善裕 長澤 敏行 吉田 光希 森川 哲郎
13	高齢者にみられる疾患	糖尿病の病態と関連する疾患について理解する。	倉重 圭史
14	高齢期の健康づくり対策	高齢期の健康づくりの理念と実際の対策および施策について理解する。	三浦 宏子
15	高齢者の心身の特徴3	高齢者の心身の特徴を理解する。	長澤 敏行 豊下 祥史

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

定期試験（筆記試験）70%、講義中の製作物 30%

【教科書】

その都度プリントを配付する。

【学修の準備】

予習として、次回内容に関する事柄を事前学習する。（120分）

復習として、配付資料に目を通し、問題点を確認する。（120分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。（専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力）

DP 2. 「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。（総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナリズム、コミュニケーション能力）

DP3. より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適応する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。（科学的探究、生涯に渡ってともに学ぶ姿勢）

DP 4. 多職種（保健、医療、福祉、介護）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる能力を身につけている。（多職種連携能力）

DP 5. 歯科医療の専門家として、経済的な観点・地域特性を捉えた視点・国際的な視野を持ちながら活躍できる能力を身につけている。（社会における医療の役割の理解）

【実務経験】

（歯科医師）三浦宏子、安彦善裕、長澤敏行、豊下祥史、倉重圭史、吉田光希、森川哲郎

（作業療法士）坂上哲可、本家寿洋、朝日まどか、依田 泰知、齋藤 隆司

（理学療法士）武田涼子、佐藤一成、多田菊代、只石朋仁、谷口翔平

【実務経験を活かした教育内容】

歯科医師、理学療法士、作業療法士としての実務経験を活かし、歯科医療に有益となるリハビリテーション科学教育を行っている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している